



2025年3月3日

各位

会社名 株式会社 aero lab international
(コード番号 326A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 鼓呂雲 健造
問合せ先 マネジメントコントロール長
松本 章吾
TEL 072(990)1232
URL <https://aerolab.jp>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market 上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日 2025年3月3日、株式会社東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場いたしました。引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

なお、2025年3月期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の当社グループの業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別紙のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	2025年3月期 (予想)			2025年3月期 第3四半期累計期間 (実績)		2024年3月期 (実績)	
		構成比	対前期 増減率		構成比		構成比
売上高	3,744	100.0	75.4	1,582	100.0	2,134	100.0
営業利益	50	1.3	—	△66	△4.2	△93	△4.4
経常利益	38	1.0	—	△81	△5.1	△86	△4.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	24	0.7	—	△53	△3.4	△26	△1.2
1株当たり 当期純利益	756.57円			△1,659.10円		△810.13円	
1株当たり配当金	—			0.00円		0.00円	

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数(2025年3月期については予定)で算出しております。

【2025年3月期業績予想の前提条件】

(1) 当社グループ全体の見通し

当連結会計年度の世界経済は、欧米諸国での金融引き締め効果によりインフレ圧力が緩和し需要と供給の両面での堅調さが維持された一方で、アメリカの今後の政策動向、継続する地政学的リスク、自然災害の発生、円安による輸入コスト上昇を受けた物価高など、先行きを引き続き注視していく必要があります。

このような事業環境の中、当社グループでは、円安基調を受け輸入販売については比較的低調に推移することが見込まれるものの、機体の輸出販売については、大型の機体販売案件の受注に注力するとともに、為替リスクに対応するため柔軟な価格設定を検討する等の対応を進めております。

このような状況のもと、当社グループの2025年3月期の業績予想は、売上高3,744百万円（前期比75.4%）、営業利益50百万円（前期は93百万円の営業損失）、経常利益38百万円（前期は86百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益24百万円（前期は26百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となっております。

(2) 業績予想の前提条件

①売上高

当社グループの売上高は、航空機販売その他付随する事業の売上高で構成されております。

(単位：百万円)

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	前期比増減率
航空機販売	1,832	3,424	86.9%
その他付随する事業	302	320	6.0%
合計	2,134	3,744	75.4%

航空機販売は、中古の小型航空機を国内外で販売しており、2025年3月期の売上計画は、直近までの販売実績と、機体の特定や手付金の收受等が行われている等の具体的な引き合いのある案件について個別に販売金額を予測し、積み上げた金額により予想しております。

その他付随する事業は、航空機販売に付随する整備支援や運航支援を行っており、2025年3月期の売上計画は、月次の過去販売実績と直近までの受注動向に基づき予想しております。

以上の結果、売上高は3,744百万円（前期比75.4%増）を見込んでおります。

②売上原価・売上総利益

売上原価は、主に航空機販売の機体仕入原価、整備支援にかかる部品仕入原価、整備士の労務費等から構成されております。機体仕入原価は、直近までの仕入実績と、具体的な引き合いのある機体の仕入価格を予測し、積み上げた金額により予想しております。部品仕入原価は、直近までの仕入実績と、過去の部品仕入原価率を予測売上高に乗じた予測

部品仕入原価から予想しております。労務費は時間外労働手当等を含む月次の過去実績から予想しております。

以上の結果、売上原価は 3,344 百万円（前期比 70.7%増）、売上総利益は 399 百万円（前期比 127.9%増）を見込んでおります。

③販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、主に役員報酬、旅費交通費、支払手数料等から構成されております。役員報酬は、固定報酬のみで構成され、株主総会で承認された報酬限度額内で役員報酬規程に沿って取締役会で決定された金額によって予想しており、各取締役の個人別の固定報酬については、各取締役の役割、職務内容、保有資格技能、業界水準を総合的に勘案して決定しております。旅費交通費及び支払手数料は、月次の過去実績から予想しております。

以上の結果、販売費及び一般管理費は 349 百万円（前期比 30.0%増）、営業利益は 50 百万円（前期は 93 百万円の営業損失）を見込んでおります。

④営業外損益、経常利益

営業外損益は、主に為替差損益、上場関連費用等から構成されております。為替差損益は直近までの実績に基づき、また、上場関連費用は担当 J-Adviser や東京証券取引所への上場に伴う支払予定額により予想しております。

以上の結果、経常利益は 38 百万円（前期は 86 百万円の経常損失）を見込んでおります。

⑤特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益に関して、業績予想作成時点で個別に見込んでいる重要なものではありません。法人税等合計（法人税等及び法人税等調整額の合計）は、各社の税引前当期純利益に交際費等の損金不算入項目の予想額を加算した金額に、各社において適用される実効税率を乗じて算定しております。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は 24 百万円（前期は 26 百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を見込んでおります。

【業績予想に関する留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等の様々な要因によって異なる場合があります。

以上

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年3月3日

上場会社名 株式会社 aero lab international 上場取引所 東
 コード番号 326A URL https://aerolab.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鼓呂雲 健造
 問合せ先責任者 (役職名) マネジメントコントロール長 (氏名) 松本 章吾 (TEL) 072(990)1232
 兼マネジメントユニット長
 発行者情報提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,582	—	△66	—	△81	—	△53	—
2024年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △53百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△1,659.10	—
2024年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2024年3月期第3四半期は、四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期第3四半期の数値及び2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2024年12月10日付で普通株式1株につき25株の株式分割を行っておりますが、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	843	9	1.09
2024年3月期	533	63	11.82

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9百万円 2024年3月期 63百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期	—	—	—		
2025年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,744	75.4	50	—	38	—	24	—	18,914.14

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年12月10日付で普通株式1株につき25株の株式分割を行っておりますが、2025年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) ー 、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	32,500株	2024年3月期	32,500株
2025年3月期3Q	ー株	2024年3月期	ー株
2025年3月期3Q	32,500株	2024年3月期3Q	ー株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

- (注) 1. 2024年12月10日付で普通株式1株につき25株の株式分割を行っておりますが、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。
2. 2024年3月期3Qについては、四半期連結財務諸表を作成していないため期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、欧米諸国での金融引き締めの効果によりインフレ圧力が緩和し需要と供給の両面での堅調さが維持された一方で、アメリカの政策動向、継続する地政学的リスク、自然災害の発生、円安による輸入コスト上昇を受けた物価高など、先行きを引き続き注視していく必要があります。

このような事業環境の中、当社グループでは、円安基調を受け機体の輸入販売については比較的低調に推移したものの、輸出版売については大型の機体販売案件の受注に注力して参りましたが、当第3四半期連結累計期間で見込んでいた一部の大型の機体販売について、顧客事由等から見込んでいた時期までに顧客への引渡しがされず、当該大型機体販売にかかる売上高の計上がされない状況となりました。

この結果、売上高は1,582,341千円、営業損失は66,119千円、経常損失は81,327千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は53,920千円となりました。

売上高を主な製商品及びサービス内容別に示すと次のとおりです。なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別情報の記載を省略しております。また、当第3四半期連結累計期間は第3四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前年同期間との比較分析は行っておりません。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	前年同期比
航空機販売	-	1,363,485	- %
その他付随する事業	-	218,855	- %
合計	-	1,582,341	- %

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は607,739千円となり、前連結会計年度末と比べ200,529千円増加しました。これは主に、売掛金が102,461千円、現金及び預金が83,964千円、返品資産が51,090千円減少したものの、前渡金が412,774千円、仕掛品が30,758千円増加したことによります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は235,467千円となり、前連結会計年度末と比べ108,919千円増加しました。これは主に、長期投資が47,823千円、建設仮勘定が42,952千円、繰延税金資産が28,065千円増加したことによります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は767,126千円となり、前連結会計年度末と比べ318,304千円増加しました。これは主に、買掛金が221,869千円、返金負債が79,307千円減少したものの、預り金が409,298千円、前受金が134,657千円、その他の流動負債が67,958千円増加したことによります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は66,905千円となり、前連結会計年度末と比べ45,065千円増加しました。これは、長期借入金が増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は9,176千円となり、前連結会計年度末と比べ53,920千円減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失53,920千円の計上によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	96,293	12,328
売掛金	104,682	2,221
商品	1,683	1,721
仕掛品	4,878	35,637
原材料及び貯蔵品	2,339	2,079
返品資産	68,181	17,091
前渡金	98,937	511,711
その他	30,213	24,948
流動資産合計	407,210	607,739
固定資産		
有形固定資産	101,336	133,815
投資その他の資産	25,211	101,651
固定資産合計	126,547	235,467
資産合計	533,758	843,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,954	19,084
1年内返済予定の長期借入金	5,460	15,900
未払法人税等	4,502	1,630
前受金	40,542	175,200
返金負債	110,000	30,692
預り金	9,333	418,631
その他	38,028	105,987
流動負債合計	448,821	767,126
固定負債		
長期借入金	21,840	66,905
固定負債合計	21,840	66,905
負債合計	470,661	834,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,000	13,000
利益剰余金	50,096	△3,823
株主資本合計	63,096	9,176
純資産合計	63,096	9,176
負債純資産合計	533,758	843,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	1,582,341
売上原価	1,359,272
売上総利益	223,069
販売費及び一般管理費	289,189
営業損失(△)	△66,119
営業外収益	
受取家賃	486
その他	267
営業外収益合計	753
営業外費用	
支払利息	395
為替差損	15,564
その他	0
営業外費用合計	15,960
経常損失(△)	△81,327
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,327
法人税等	△27,406
四半期純損失(△)	△53,920
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△53,920

四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△53,920
四半期包括利益	△53,920
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,920

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、航空機販売その他付随する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	12,030千円